

## 正誤表

『がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2020 年版』第 1 刷（2020 年 7 月 20 日発行）、第 2 刷（2021 年 3 月 1 日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2022 年 1 月 21 日

金原出版株式会社

## 記

頁	訂正箇所	誤	正
62	「4) ヒドロモルフォン」の 2～3 行目	また、静脈内投与におけるモルヒネとヒドロモルフォンの鎮痛力価の比は、 <u>8:1</u> である。	また、静脈内投与におけるモルヒネとヒドロモルフォンの鎮痛力価の比は、 <u>1:8</u> である。
	「5) オキシコドン」の 2～5 行目	また、静脈内投与におけるモルヒネとオキシコドンの鎮痛力価の比は約 <u>2:3</u> である。経口投与時は、オキシコドンの生体内利用率がモルヒネの約 2 倍であるため、モルヒネとオキシコドンの鎮痛力価の比は約 <u>3:2</u> となる。	また、静脈内投与におけるモルヒネとオキシコドンの鎮痛力価の比は約 <u>3:2</u> である。経口投与時は、オキシコドンの生体内利用率がモルヒネの約 2 倍であるため、モルヒネとオキシコドンの鎮痛力価の比は約 <u>2:3</u> となる。

以上

## 正誤表

『がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2020年版』第1刷（2020年7月20日発行）、第2刷（2021年3月1日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2021年9月6日

金原出版株式会社

## 記

頁	訂正箇所	誤	正
32	表5 「原因」の列の4行目	鎖骨上、 <u>脇</u> 窩リンパ節転移	鎖骨上、 <u>腋</u> 窩リンパ節転移
	同 「痛みの特徴」の列の 3行目	<u>脇</u> 窩、前胸部、肩関節周囲の痛み	<u>腋</u> 窩、前胸部、肩関節周囲の痛み
72	表5 「予想される臨床症 状」の列の14行目	オピオイド代謝 <u>阻害</u> によるオピオ イドの作用減弱	オピオイド代謝 <u>誘導</u> によるオピオ イドの作用減弱

以上

## 正誤表

『がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2020 年版』第 1 刷（2020 年 7 月 20 日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2021 年 9 月 6 日

金原出版株式会社

## 記

頁	訂正箇所	誤	正
30	表 3 「随伴症状・その他」の列の 5 行目	<u>上肢</u> の進行性の感覚・運動機能障害	<u>下肢</u> の進行性の感覚・運動機能障害

以上

## 正誤表

『がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2020 年版』第 1 刷（2020 年 7 月 20 日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2020 年 7 月 20 日

金原出版株式会社

### 記

頁	訂正箇所	誤	正
118	CQ6 推奨文の上から 6 行目	2C (強い推奨, 弱い根拠に基づく)	2C (弱い推奨, 弱い根拠に基づく)
136	CQ14 推奨文の上から 4 行目	2C (弱い推奨, 低い根拠に基づく)	2C (弱い推奨, 弱い根拠に基づく)
158	CQ24 推奨文の上から 3 行目	1C (弱い推奨, 弱い根拠に基づく)	1C (強い推奨, 弱い根拠に基づく)
160	CQ25 推奨文の上から 2 行目	1B (強い推奨, 弱い根拠に基づく)	1B (強い推奨, 中等度の根拠に基づく)

以上